

未来のつばさ

INDEX

P.2 2014年度 自立奨学支援制度「未来のつばさ」を振り返って

2014年度申請の応募と選考状況報告

P.4 子ども達からの手紙

ご支援ありがとうございました!

書き損じはがきによるご寄付、ありがとうございました。

P.6 団体向け支援事業の結果報告

子ども達を支える団体の活動を 応援しています!

- ・支援事業内容
- ・子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー
- ・社会的児童養護の啓発事業

P.8 財団トピックス

Vol.20
2015.6

◆ 2014年度申請の応募と選考状況報告 ◆

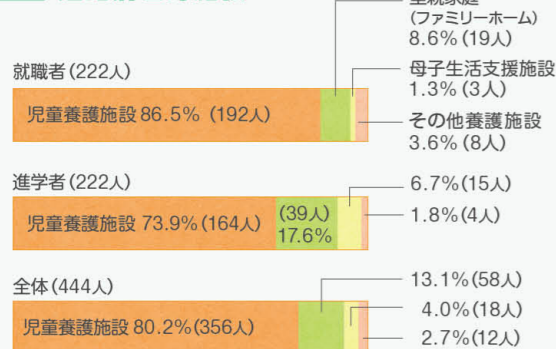
本年度の応募申請は2014年11月から受付を開始し、締切を12月26日といたしました。応募件数は自立(就職)予定者が222名、奨学(進学)予定者が同数で222名、合計444名の応募を受け付けました(表I参照)。

昨年と比べ応募総数は63件減少いたしました。2014年度は当初の予算に加え、定期的個人寄付の受入れが始まり、それを財源とした支援者枠を「2014年度特別枠」とし、100名の追加支援を行いました。その結果従来の支援率を30%台から60%弱へと大幅な進展を見せました(表II参照)。本年度は財団法人「未来のつばさ」が生まれて丸4年、**困難を抱えた子ども自立支援事業を行い、児童福祉の充実と向上に寄与すること**を目的に創設された財団です。この目的を達成するため毎年、**子どもへの自立奨学支援を目的とした助成事業**を行っております。従来、自立支援は「楽天未来のつばさ」、奨学支援は「エキスパート児童福祉支援協会」が受け持ちましたが、2014年度より本財団が児童福祉支援協会の事業を継承し、自立・奨学支援を一本化した事業として運営に当たってお

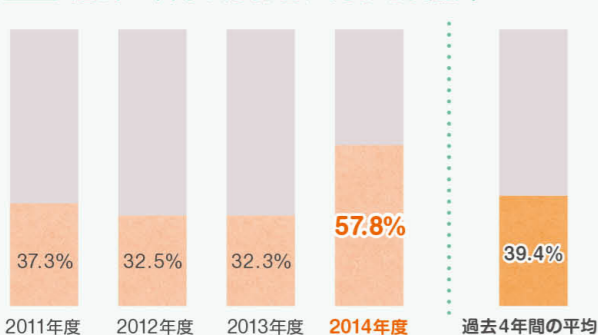
ります(表III参照)。この事業の財源は本財団が公益財団法人の認可を取得した2011年に450名以上の方々の寄付金より基金化され、以後毎年多くの方々より継続しての寄付金により運営されております。その源泉は楽天生命保険株式会社の全員参加の社会貢献として、法人は利益の一部を、また社員と代理店の有志は、給与や報酬の一部を寄付金として社会へ還元しています。また、「書き損じはがき回収」も全国の代理店が協力し、社員、代理店によるボランティア活動としてご協力いただいております(表IV参照)。

毎年18歳を迎え就職また進学のために児童養護関連施設また里親制度から独立し社会人として巣立つ子ども達が3000名を超える現状であります。一般の子ども達と比べると多くのハンディーを抱えた旅立ちですが、多くの夢と希望も同時に持っています。この子たちに少しでも役に立てればとの思いを持った人達からなるこの事業を今後も長く継続させるため、多くの方々の事業参加をお待ちいたしております。

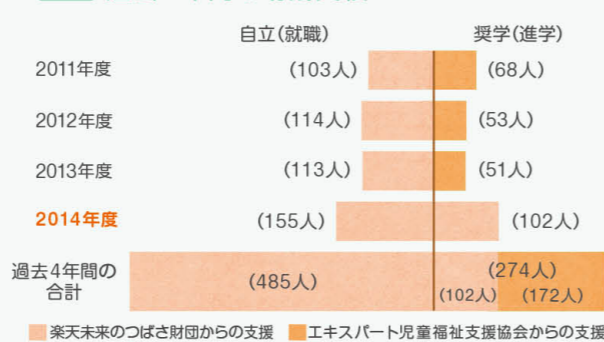
表I 進路別出身施設



表II 過去4年間の応募者に対する支援率



表III 過去4年間の助成実績



表IV 2014年度寄付金状況 (単位万円)

収入区分	寄付者	自立奨学支援事業	団体向け支援事業	法人会計(管理費)	事業基金積立	合計
法人寄付金	楽天生命保険(株)		550		1450	2000
個人寄付金	楽天生命代理店・役員	2000		1000	400	3400
協働事業負担金	NPOチャリティ・アソシエーション	1900		500	100	2500
書き損じはがき	楽天生命社会貢献推進室	100				100
合計		4000	550	1500	1950	8000

※正式な収入実績は「2014年度収支決算書」をご参照ください。(財団ホームページに掲載)

◆ 選考委員から ◆

本年度の自立奨学支援申請審査は2014年11月7日の選考委員会で当年度の選考方法、評価方法また審査体制が協議され、2014年12月26日申請締切より本格的に審査を行いました。

審査体制は3チームでチーム構成はそれぞれ社会的キャリアの特徴をもったメンバーによる構成といたしました。一人の申請者にそれぞれのチームメンバーが審査を行い、3名の審査得点を平均し評価点といたしました。

◆ 審査委員から ◆

「希望を持って」

審査員 新町 幸子

今回、初めて選考会に参加させていただきました。自分ではどうすることもできない過酷な状況の中で育った子ども達。そんな状況の中で誰かを恨むことなく、必死に自分の場所を探し、精一杯頑張っている子ども達。そのようなことを今までの私は知識として知ってはいても、深く知ろうとせず、ましてやこの支援制度についても知りませんでした。こんな私が長い間子ども達に関わる仕事をしていましたのでから恥ずかしい限りです。

しかし、応募された書類の一枚一枚から、どんな状況の中でも希望を持って前へ歩み出して行こうとする子ども達の熱い思いを知りました。

育つ環境は自分で選ぶことはできませんが、これからは自分の力で自分の道を選ぶことができるのです。そう信じてほしい。希望を持ち続けてほしいと切に思います。

そして、この制度に応募されたこの子たちみんなを援助できないことをとても残念に思います。

大変貴重な経験をさせていただきました。

今は、応募してくれた子ども達が希望を捨てずにそれぞれの道を歩んでくれていることを信じ、願っています。



審査メンバーは全員がボランティアで貴重な時間を割いて審査にご協力いただき、2014年11月21日より翌年の1月30日まで25名以上の審査委員で精力的に時には厳しく、また作文に涙し、児童の将来に幸福を願いながら審査を行いました。誌上を借りて審査委員の皆様には厚く御礼申し上げます。



「審査を終えて」

審査員 大久保 章子

応募書類を読み選考をさせていただくうちに、10年前の12月の事を思い出しました。郵便局に大きな紙袋をいくつも持ってあらわれた人と交わした会話です。

「児童養護施設で育ち、クリスマスプレゼントをもらったことがとても嬉しかった。その気持ちを子ども達に届けたい」。晴れやかな男性の笑顔でした。

18歳で施設から巣立ち、仕事をしながら、または勉強をしながら自立した生活を送るのは大変な事でしょう。応募された文章には沢山の感謝という言葉があり、全員を支援できないもどかしさを感じました。感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって力強く歩む皆さんを応援しています。

「これからも続けていきたい」

2014年度楽天生命(株)ボランティア審査員

今回初めて、選考のお手伝いをさせていただきました。幼少期からとても辛い思いをして将来の希望を求めて支援を申し込まれた子ども達を選別するのは、とても心苦しい感じもします。

正直、審査員という事で、自身のつけた評価が少なからず、子ども達の未来に影響を与えるのだと知り、気が重たいなと感じた事は否めませんが、様々な事情により、施設で生活している子ども達の夢を叶えてあげられる為に少しでも自身が貢献できたらと、これからも寄付をし続けたいと強く思いました。

不安や心細さもあるかもしれませんが、めいっばい輝いてほしいと思います。

子ども達からの手紙

ご支援ありがとうございました!

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。

子ども達からも、感謝の手紙が寄せられています。

看護師になることが私の夢

先日は、たくさん支援資金を下さり心から感謝しています。
4月から1人暮らしをするので、生活に必要な物を買ったり、もしもの時のために貯金などをして、大切に使用していきたいです。
私の夢である看護師になるため、5年間学校に通いながら、病院で働きます。両立する事は、大変だと思いますが、みなさんの応援が無駄にならないよう夢への実現のため一生懸命がんばりたいと思います。

自分の夢の実現のために

自立奨学支援資金を頂きまして本当にありがとうございました。これから自分の夢の実現のために大切に使用させていただきます。自分と血のつながりのない沢山の人生の先輩達が僕を支えて下さっていることは決して忘れません。この恩を忘れず頑張ります。

就職が決まりました

この度は、自立奨学支援資金を頂き有難うございます。私は神奈川県のレストランの会社に就職が決まりました。施設を離れ、これからは一人暮らしでいかなければいけなく、大変だと思いますが皆さんをばいばい、皆さんの今までの支援して下さいました。私を応援して下さい見守って下さっていることを忘れず、頑張りたいと思います。頑張らなければならないのに、一生懸命働いて得たお金を私に支援して下さい感謝の気持ちです。本当に有難うございます。

鉄道員になりました

この度は、私のために多くの支援をしていただきましたことに厚くお礼申し上げます。皆様の温かい支援のおかげで、私の幼少時代の「鉄道員になる」という夢へ直結して下さったことであると思っています。「高卒で社会人」という、大卒に比べて収入が低い部分もありますが、支援して下さった方々の期待に応えられるように、2015年4月より「精一杯 鉄道員」としての使命、仕事に力を注ぎたいと思います。最後に申し上げます。この支援は神様のお恵みの縁だと今でも思います。

大きな目標があります

この自立奨学支援資金を頂く事に、とても感謝しています。私は大きな目標があり、大学に進学し、野球で全国大会に出場すること、そして将来は、社会人野球に入り、プロ野球選手を目指したいと思っています。そして将来、私のように経済的理由で修学困難な見込に対しての支援を受ける多くの社会人になりたいです。本当にありがとうございます。

看護学校に進学します

全国の寄付者の方々へ
全国の寄付者の皆さん、この度は私達のために奨学金をご用意していただき、本当にありがとうございます。私はこれから生まれ育った北海道を離れ、神奈川県にある看護学校に進学します。慣れない土地で初めての一人暮らしに不安が沢山ありますが、皆さんからいただいた奨学金の使い道をよく考え、大切に使用させていただきたいと思っております。そして、温かく心強い沢山の応援の声を胸に、看護師になる夢を叶えたいと思っております。本当にありがとうございました。

立派な社会人になれるように

このたびは、このような支援を受けさせていただき本当にありがとうございます。いただいたお金につきましては大切に使用していきたいと考えています。大学では経済学について深く学び、立派な社会人になれるように努力していきます。勉強と同時にアルバイトもかなりのペースでやらないと生活できないので、かなり苦しい生活になると思うのですが、皆様が変わって下さっていると思うと頑張れる気がします。将来私も皆様のように次の世代になる子どもたちの支援をしたいと考えています。

私の夢は小学校の教員

私の夢は、小学校の教員です。そのため進学します。短期大学部のため2年となりますが、精一杯頑張りたいです。私は今皆様のように応援して下さい、支援して下さいの方のおかげで前へ進む事が出来ています。本当にありがとうございます。応援して下さいの方への恩返しと自分のために全力で勉強し、夢を実現したいです。

書き損じはがきによるご寄付、ありがとうございました。

当法人では、書き損じ、未使用はがきによるご寄付を受け付けています。
特に楽天生命株式会社の皆様には毎年11月から1月の間に「書き損じはがき回収キャンペーン」を実施していただき、多くのご支援をいただいております。

★2014年度のご報告(期間2014年11月1日～2015年1月23日)

〈ハガキ枚数〉16,559枚 〈寄付金額〉670,000円

今年度は前年度の繰り越し分と合わせて、7名の子ども達を追加支援することが出来ました。この貴重なご支援に対し、子ども達から多くの感謝メッセージが届いていますので、今ページでご紹介いたします。

書き損じはがきのご提供ありがとうございました!

児童福祉施設から自立する子どもたちへの自立奨学支援資金

5名の追加支援決定!!

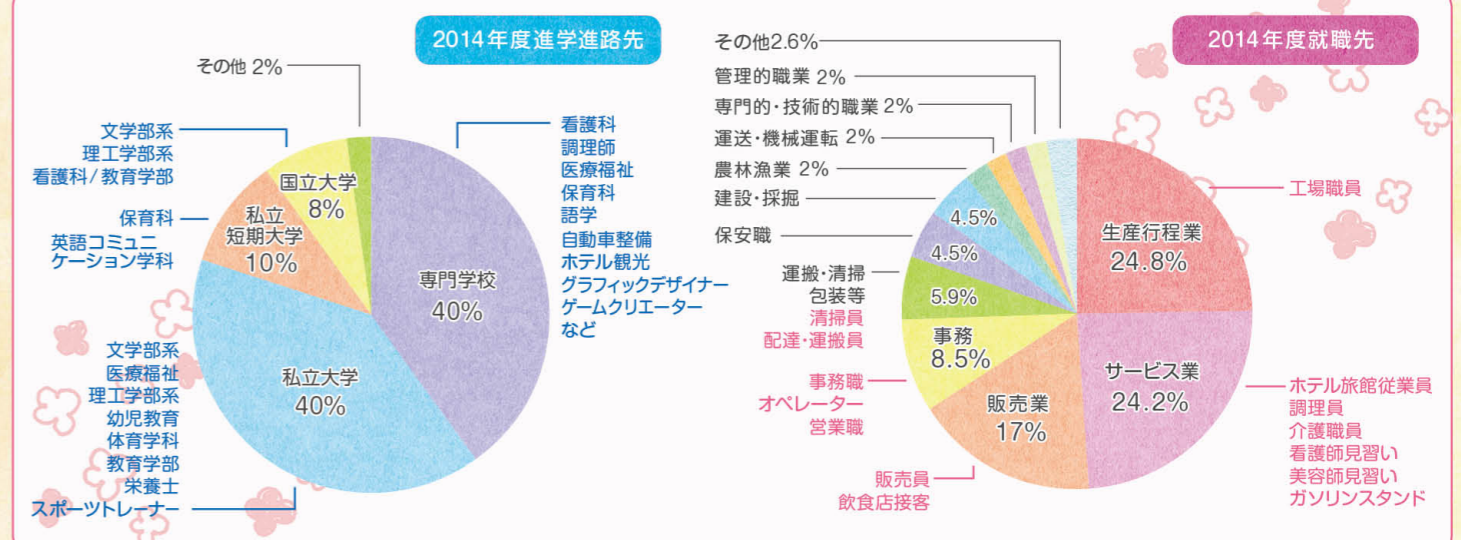
児童福祉施設から自立する子どもたちへの自立奨学支援資金「書き損じはがき」による追加支援決定のお知らせです。追加支援決定した5名の子どもは、それぞれが自立生活を送るための資金として、今年度の支援資金として活用させていただきます。追加支援決定した5名の子どもは、それぞれが自立生活を送るための資金として、今年度の支援資金として活用させていただきます。

ご報告	はがき 総枚数	16,559枚
	寄付金額	670,000円

「公益財団法人楽天未来のつばさ」より
「子ども達の夢への大きな変化になります」

児童福祉施設から自立する子どもたちへの自立奨学支援資金「書き損じはがき」による追加支援決定のお知らせです。追加支援決定した5名の子どもは、それぞれが自立生活を送るための資金として、今年度の支援資金として活用させていただきます。追加支援決定した5名の子どもは、それぞれが自立生活を送るための資金として、今年度の支援資金として活用させていただきます。

児童福祉施設から自立する子どもたちへの自立奨学支援資金「書き損じはがき」による追加支援決定のお知らせです。追加支援決定した5名の子どもは、それぞれが自立生活を送るための資金として、今年度の支援資金として活用させていただきます。追加支援決定した5名の子どもは、それぞれが自立生活を送るための資金として、今年度の支援資金として活用させていただきます。



団体向け支援事業の結果報告

子ども達を支える団体の活動を応援しています!

2014年度より取り組みを開始した「団体向け支援事業」は、昨年度6件の支援を行う事ができました。それぞれ児童養護関連の事業として、そのテーマや内容が子どもの権利擁護、子どもの最善の利益に資するものとして、事業の効果が十分発揮できると本財団で認められた事業です。昨年度に実施され、その報告書が参りました。その内の2件を今回ご紹介いたします。



子ども虐待防止 オレンジリボン たすきリレー

オレンジリボンたすきリレー事業への参加者は年々増えています。児童福祉分野で働いているだけでなく、行政、教育、子育て支援に携わっている方、また地域によっては消防団や地区の連合会の方、大学生、高校生など幅広い分野から参加してくださいました。

さらに、子ども虐待に関心のある一般の方の参加も増えてきており、こうした地道な活動が少しずつ浸透してきていると感じています。また、ゴール会場の山下公園は、一般の方や観光客も多く訪れる場所であることから、オレンジリボンや子ども虐待防止のリーフレットを配布するだけでなく、来場した子どもや家族が楽しめるようなブース作りを意識しました。子ども達が遊べる場、飲食を提供することで一息ついてもらう場も設置したり、ステージ上では歌やダンス、パントマイムなどのパフォー

マンスを行ったりすることで、多くの方がこのイベントに立ち寄ってくださいました。また、子ども虐待の現状や、オレンジリボンの意義などもパネル展示したところ、足を止めてパネルを見てくださった方も多く、このイベントの目的や意義を来場者に伝えることができました。

各中継地点では、地区のお祭り、スポーツ大会、子育てイベントなどと重ねるなど、地域のつながりの中でたすきリレーも展開され、子ども虐待防止に必須である地域ネットワークの構築に微力ながら一助になれたのではないかと感じています。

このたすきリレー事業は、多くの方のご支援・ご協力で成り立っています。一人ひとりの力を合わせて事業を行うことで、協働の輪がますます広がっていることを実感します。

支援事業内容

No	申請月日 承認月日	事業主体	事業名
1	8月25日 9月8日	子ども虐待防止オレンジリボン実行委員会	子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー
2	9月4日 9月19日	特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	児童養護施設等の子ども達に対する就労支援事業
3	9月9日 9月29日	NPO法人 輝けいのちのネットワーク	社会的児童養護の啓発事業
4	9月22日 10月6日	社会福祉法人 児童養護施設 別府光の園	軽度知的障がい児童の自立訓練プログラム
5	10月11日 10月29日	社会福祉法人アフターケア相談所ゆずりは	高卒認定資格等学習会とITサポート教室の実施
6	8月19日 12月17日	社会福祉法人湖会 児童養護施設 松代福祉寮	全小規模化へ移行することによる日常的自立支援

※各事業のプログラム、実施内容詳細は主催事業団体へお問い合わせください。

▶「子守唄コンサート」は、今回で連続5回目の開催となったことから、地域住民への認知度も高まり、回を重ねるごとに入場者数も増加してきている。今回はほぼ満席となり、来場者のもとより、その来場者の口コミにより周囲の人たちにもコンサートの様子が拡散されたことで、古来から唄い継がれてきた子守唄が持っている効果やコーラスの魅力が広く地域に浸透した。このことで、児童虐待に対する地域住民の理解の深まりが期待できるようになった。また、幼少期から児童養護施設という限定的な環境のもとで生活してきた施設の子供達にとって、異なった環境下での体験は何物にも代え難いものであり、今後成長し、社会生活を送るうえでの素養を身につけることにつながった。

**心癒やすハーモニー
西和賀子守唄コンサート**

子守唄コンサート
(2015年2月23日「岩手日日新聞」に掲載)

社会的児童養護の 啓発事業

◀里親懇談会では、これまで交流の機会がなかった岩手県内の里親の人たちと西和賀町内のホームステイ受入れ世帯の人たちが情報交換を行ったことで、子どもの成長過程における家庭や家族の大切さというものを共通認識することができた。こうした一連の取り組みを通じて、西和賀町の地域特性である「人・自然・文化」を生かした子育てが町に活気を取り戻す方策の一つであることが期待できるようになった。

里親懇談会 (2015年2月23日「岩手日日新聞」に掲載)

**子育ての現状理解
西和賀で里親懇談会**

子育ての現状や在り方について意見交換した
里親懇談会

財団トピックス

平成27年度の新役員、評議員が選任されました。江戸監事と金井評議員がご退任され、前田理事、高橋監事が新任として財団の新メンバーに加わりました。全役員、評議員、力を合わせて子ども支援事業に尽力いたします。

理事長	野口 修作	公益財団法人 楽天 未来のつばさ 常任理事
理事	黒坂 三重	楽天株式会社 執行役員
理事	前田 誠一	公益財団法人 全国里親会 評議員
理事	増沢 高	横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター研修部 研修部長
理事	吉岡 順元	ビジネステクノクラフツ株式会社 代表取締役
監事	飯塚 良成	飯塚公認会計士事務所 所長 公認会計士
監事	高橋 孝志	オーシャン綜合法律事務所 所長 弁護士
評議員	市村 元一	(前)楽天生命保険(株) 執行役員
評議員	鷹野 秀征	一般社団法人新興事業創出機構 理事長
評議員	高橋 温	新横浜法律事務所 弁護士
評議員	羽物 俊樹	スカイライトコンサルティング(株) 代表取締役
評議員	村瀬 嘉代子	一般社団法人日本臨床心理士会 会長

役員別五十音順 2015年6月現在

ホームページをぜひご覧ください

公益財団法人 楽天 未来のつばさ

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からのメッセージをご紹介します。

<http://mirainotsubasa.or.jp/>



公益財団法人
楽天 未来のつばさ

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 新日本橋長岡ビル4階
電話:03-5642-7890 FAX:03-3249-7870
E-mail:info@mirainotsubasa.or.jp